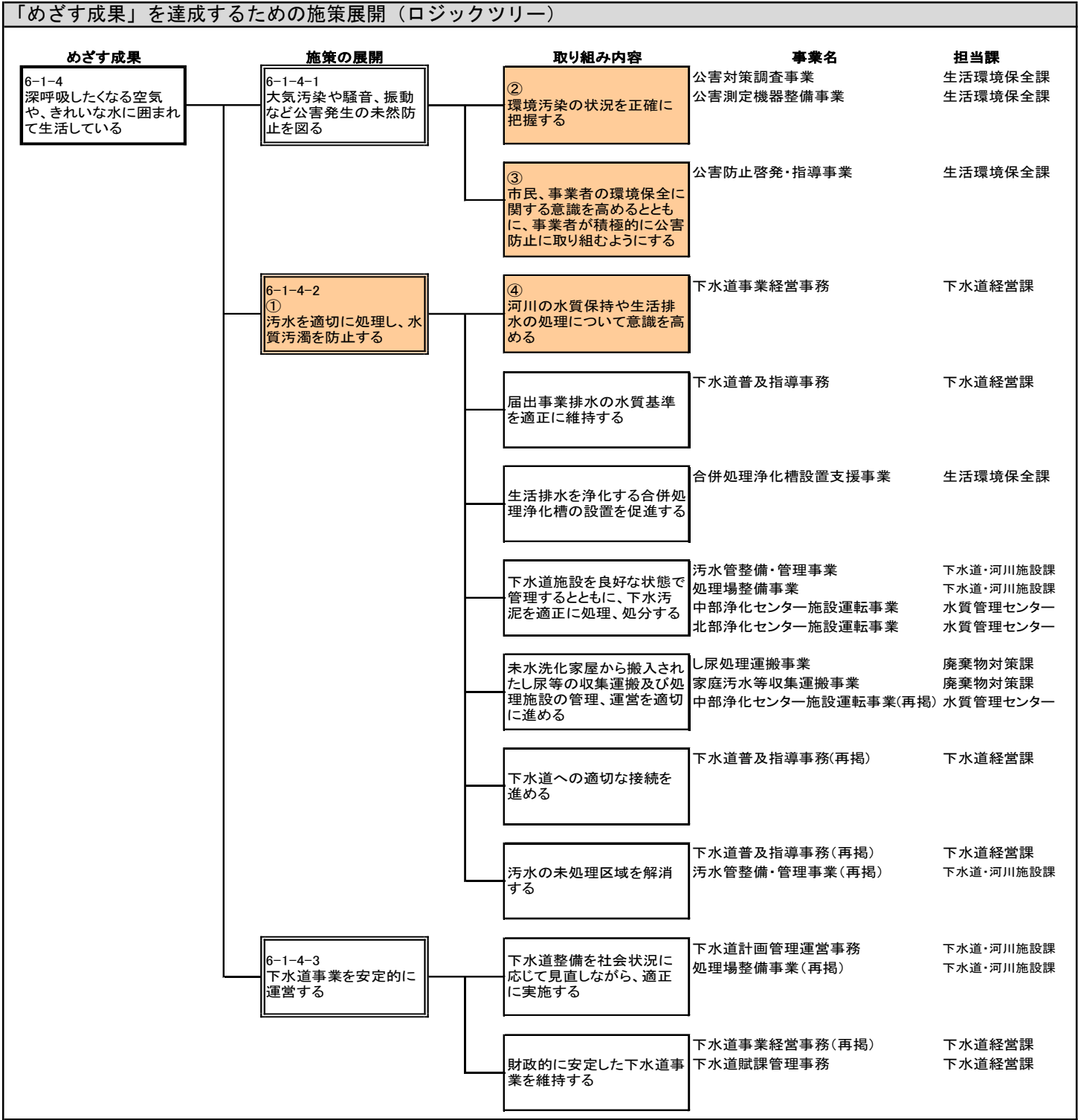


令和３年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
健康領域	まちの健康	
基本目標	6	環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち
個別目標	6－１	環境を守り育てる
めざす成果	6－１－１	温室効果ガスの排出量が削減されている
	6－１－２	ごみの減量・資源化により循環型社会への歩みが進み、清潔なまちが維持されている
	6－１－３	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる
	6－１－４	深呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している



所 管 部			環境施設農政部				
【成果を計る主な指標】			前期基本計画期間（R１～R５年度）				
指標の名称			計画当初値	実績値 （R１）	実績値 （R２）	中間目標値 （R３）	最終目標値 （R５）
①	河川の水質の基準とされている生物化学的酸素要求量（BOD）	（境川）	１． ５mg/l	１． ６mg/l	１． ９mg/l	３． ０mg/l以下	３． ０mg/l以下
		（引地川）	０． ８mg/l	１． ３mg/l	１． ３mg/l	２． ０mg/l以下	２． ０mg/l以下
②	環境基準適合率		９４． ７％	９４． ９％	９４． ７％	９４． ９％	９５． ０％以上
③	公害苦情件数		１０１件	８３件	９０件	９８件	９６件
④	下水道出前授業の実施校数		２０校	１８校	１９校	２０校	２０校

【令和２年度までの主な取り組み内容及び今後の方針】

施策の展開	主な取り組み内容	今後の方針
大気汚染や騒音、振動など公害発生 の未然防止を図る	■公害苦情で半数を占める騒音苦情を減少させるため、開発に係る協議や特定建設作業実施の届出があった際に、騒音や振動の低減について啓発しました。 ■環境基準項目不適合率を減少させるため、大気汚染物質の増加要因の一つである自動車のアイドリングに対して、不要なアイドリングは避けるよう啓発を行いました。 ■公共用水域の水質保全のため、事業所に対し、汚染物質の流出防止の啓発を行いました。	■今後も継続して市民及び事業者への啓発活動を行っていきます。
汚水を適切に処理し、水質汚濁を防止する	■市内の小学4年生を対象に下水道出前授業を行い、下水道事業についての啓発を行いました。（R2年度実績：19校） ■排水設備等を公共下水道へ接続する申請者に対し、申請内容を確認し、完了後検査を行いました。（(R2年度)排水設備確認申請：899件、物件設置等許可申請：354件） ■事業場等の排水処理について、施設の確認及び指導を行いました。（(R2年度)事業場の立入、指導件数：137件） ■市街化調整区域内で既存の単独処理浄化槽又は汲み取り式便槽から合併処理浄化槽へ設置替える市民に対し、補助金を交付しました。（R1年度：2件、R2年度：2件） ■汚水未整備地区の生活環境向上のため、令和2年度に汚水管235.2m（市施工分）の整備と合流管36.9m（市施工分）の管更生を実施しました。 ■河川の良好な状態を維持するため「ストックマネジメント計画」及び「総合地震対策計画」に基づき、下水処理施設の改築・更新を行いました。	■下水道の適正利用方法について引き続きPRしていくため、啓発活動を継続していきます。 ■水質基準を適正に維持するため、下水道を適正に使用するよう、指導・確認を行います。 ■市街化調整区域において下水道が整備されるまで、水質汚濁の防止及び河川水質の向上をめざし、合併処理浄化槽設置支援事業を継続していきます。 ■老朽化した管路が増えてきていることから、計画的かつ効率的に更新していく必要があります。 ■下水処理場については、安定した下水処理機能の維持と公共水域の水質改善のため、「ストックマネジメント計画」及び「総合地震対策計画」に基づき、計画的に改築・更新を行っていきます。
下水道事業を安定的に運営する	■公営企業会計による財務処理を行い、経営成績や財政状況の把握に努めました。 ■工事費の決算見込みに基づき、企業債の借入を行いました。（23.8億円） ■下水道使用者に対し、下水道使用料等の賦課を行いました。（下水道使用料：3,422,649千円(約693千件)）	■下水道サービスを持続的に提供するため、健全な経営を継続していきます。 ■下水道使用者に対して、適正な賦課を行っていきます。 ■令和12年度を目標年次とした大和市公共下水道全体計画に基づき、各種計画の策定・見直しを行っていきます。